

雪嶺集

〈宮坂静生 鑑〉



再訪 龍洞院

小林貴子

青田へと天の磐船下りる神
いとけなき青田時なり芭蕉思ふ
更科やにんじんの花猛々し
夏草や姨岩の石こぼれさう
遠くとも田は光るものきんぼうげ
草藤は仲間の上へのしかかり
長命縷吊してここは巫女の家
五月蠅なす神耳もとで何か告ぐ
晴子忌や徒渡りゆく薄き水
静生句碑そびらに伸びる藪枯し